

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	EGFR-TKI耐性後のABCP療法の検討
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 呼吸器外科学 飯島 慶仁
研究参加拒否 申込受付期間	2026年9月30日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2027 年 3月 31日
対象者	2018年12月～2026年3月までの間に、当院で進行または再発肺癌に対しアテゾリズマブ、ベバシズマブ、カルボプラチン、パクリタキセル(ABCP療法)レジメンで治療を受けられた方
当該研究の意義・目的	進行した非扁平上皮性NSCLC患者におけるABCP療法の実世界での有効性と安全性を評価することを目的とし、特に、長期的な頭蓋内安定性とPD-L1発現や疾患の出現(術後再発)などの予後因子の特定に焦点を当て、EGFR-TKI失敗後のABCPの戦略的価値評価する。
方法および研究で 利用する試料・情報 の取得方法	ABCPレジメンを受けた進行性または再発性の非扁平上皮非小細胞肺癌(NSCLC)患者を特定し、データは電子カルテから抽出する。 PFS およびOSの生存曲線はKaplan-Meier法を用いて推定する。 頭蓋内有効性を評価するために、死亡リスクを考慮した中枢神経系進行の累積発生率を計算する。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 情報：病歴、病理検査情報、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号等 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情報 の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研究 対象者等の求め に応じて、研究対	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。 この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さら

象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	に研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 呼吸器外科学 飯島 慶仁 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ：（代表）076-286-3511）内線（68259）

作成日：2026年5月29日